



たしろ かおる

参議院議員

田城郁

たしろ かおるは、

安心・安全な職場を創ります!

安心社会を実現します!

☆労働者保護ルールの改悪に反対します!

- ・ 残業代ゼロ制度に反対します。
- ・ 解雇の金銭解決に反対します。
- ・ 労働者派遣法を改善します。

☆過労死の撲滅に取り組みます!

- ・ 加重労働対策に取り組みます。
- ・ 年次有給休暇の取得促進に取り組みます。
- ・ 終業から始業まで11時間の休息时间確保に取り組みます。

☆全自交労連の仲間の要求を実現します!

- ・ タクシー事業法の制定に取り組みます。
- ・ 特定地域の指定基準見直しに取り組みます。
- ・ シェアリングエコノミー（白タク行為）の導入に反対します。
- ・ 累進歩合制度の廃止など賃金制度の改善に取り組みます。

JR総連・単組の要求を実現します!

☆安心・安全なJRを実現します!

- ・ 鉄道の安全対策の確立を進めます。
- ・ 責任追及から原因究明の企業風土確立に向けた制度の実現をめざします。
- ・ 鉄道員への暴力を撲滅します。

☆バス労働者の地位向上に取り組みます!

- ・ バス運転者不足を改善します。
- ・ 改善基準告示の拘束時間・休息期間の改善に取り組みます。
- ・ バス業界の安全向上に向けて取り組みます。

☆整備新幹線の問題を解決します!

- ・ 並行在来線問題に取り組みます。
- ・ JR貨物のネットワークを維持します。
- ・ 青函トンネルの安全問題に取り組みます。

☆JR北海道・貨物の構造的問題を解決します!

- ・ 経営安定基金の目減り分の解決を図ります。
- ・ 税制特例の恒久化を実現します。

☆災害に強い鉄道・バスを実現します!

- ・ 防災、減災対策に取り組みます。
- ・ 防災士の育成補助に取り組みます。

☆女性の働きやすい社会を実現します!

- ・ 働きやすい環境・設備を実現します。
- ・ 子育て支援に取り組みます。

☆産業医不足の解消に向け取り組みます!

- ・ 産業医の公正な判断ができる環境を創ります。

たしろかおる公式ホームページ

<http://www.tashiro-kaoru.com/> いいね! [たしろかおる]

たしろ かおる への
ご支援をお願いします

たしろかおる後援会に入会してください

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13
目黒さつき会館内 電話03-5759-5631
《郵便振替》00100-0-306435
《口座名》たしろかおる後援会



たしる かおるは、 全ての働く人の声を国政で発信します!

国土交通委員会で質問!

JR三島・貨物への支援に奮闘!

2014年6月19日

「JR北海道の安全に係わる修繕、設備投資への支援」を要請

2014年10月16日

「JR三島会社、JR貨物の税制特例で軽油引取税、特例措置を延長すべき」と要請

2015年5月12日

「JR貨物の列車は輸送障害で後回しにされる状況が常態化している」と改善を要請

2015年6月2日

「JR九州が抱える赤字ローカル線がなし崩し的に廃線につながることを懸念」と指摘

JRの安全確立に奮闘!

2014年3月13日

「事故を未然に防ぐ安全哲学を広げるために責任追及より原因究明が重視される企業風土の確立」を要請

2015年5月14日

「JR東日本の本体、グループ会社双方の現場労働者に技術の蓄積のでき得る体制が脆弱」と指摘

タクシー労働者の安全確保に奮闘!

2014年10月16日

「給与体系の再構築、累進歩合制の廃止、カード手数料の運転者負担の慣行見直し」を要請

2015年7月2日

「シェアリングエコノミー（白タク行為）の導入は免許制度を崩壊させ安全の確保が図れない」と指摘

鉄道員への暴力撲滅に奮闘!

2014年3月13日

「国土交通省は警察庁や事業者と協力し鉄道員への暴力根絶」に向けて実態調査を要請

2014年10月16日

「鉄道員への暴力が鉄道の安全性、定時性を損なう行為であることを国民が認識するための協議会を設置すべき」と調査に基づき要請



法務委員会で質問!

えん罪撲滅に奮闘!

2010年10月26日

「えん罪で政治的地位や社会的地位を失い職を追われることがないように取り調べの全面可視化」を要請

2011年6月9日

「証拠物の重要なものは改ざん、隠蔽などがないよう第三者機関が必要」と要請

2012年3月22日

「上ばかり見ている『ヒラメ裁判官』が生み出される構造を改善し、公正な判断ができるようにすべきである」と指摘

2012年7月31日

「裁判官に公平・公正な良心が備わっていればえん罪が量産されることはない」と指摘

決算委員会で質問!

鉄道のネットワークの必要性を訴える!

2011年5月27日

「災害時の輸送確保のためには、私鉄・第三セクター・JRのネットワークを維持することでその有効性が発揮される」と指摘